



ツバメ 追加 H O E

俺は、使命を果たした。

薬を持ち帰った俺を、あの父が、泣きながら抱きしめてくれた。
すぐにそれを母に飲ませると、顔色がみるみる良くなっていく。

どの薬を試しても効かなかったのが嘘^{うそ}のようで、改めて、万能薬の
すごさを思い知る。

だからこそ、この薬の存在は内緒にしてほしいと、両親に頼んだ。
それが俺にできるルルへの償いだと思ったから。

俺は母を選んだ。

でもあのとき、許してくれたルルのもとへ、ルルの——^{そば}傍へ。

歩みを進められなかったこと。

そのときの悲しさや後悔がどうしたって、心に残って、離れない。

これからは、元気な両親とともに過ごすことができる。

でも俺は、薬屋リーファに戻りたい。

俺を許してくれたルルのもとへ、戻りたいと、そう思った。

戻ったら、またふたりでいつものように薬屋を営んでいけるのだろう
か。

そしてもう一度、彼女に会ったとき。

俺は、彼女に抱いた淡い気持ちを——。

選択肢

1.気持ちを胸の内にしまう

2.気持ちを伝える

シーンを進めるとココフォリア上に選択肢が表示されるので、
自身の選択を左クリックしてください。